

平成22年度
「医用原子力技術に関する研究助成」
募 集 要 項

財団法人 医用原子力技術研究振興財団

「医用原子力技術に関する研究助成」は、当財団の設立の趣旨に基づき事業活動の一環として研究助成選考委員会（委員長：阿部光幸）において実施されるものです。

原子力技術を用いて行われる、粒子線等によるがん治療を始めとする各種疾病の診断・治療、薬剤、放射線照射技術等の進歩により、治療成果は順次向上しております。

しかし、関係者の熱意ある努力にもかかわらず、診断・治療研究の実施や製薬技術の開発にあたってはまだ多くの障害や困難を抱えており、これらの手法について今後一層の改善と進展が期待されています。

このため、高度先端技術である医用原子力技術に関する研究の推進を図り、その研究並びに若手研究者を支援することを目的として、下記により助成を行います。

記

1. 研究助成テーマ

医用原子力技術研究における基礎的研究とともに、診断技術に関する研究開発、治療技術に関する研究開発並びに薬剤等の研究開発を助成の対象分野とし、平成22年度の研究助成テーマを以下の通りとする。

- ①悪性腫瘍における分子イメージングの基礎的・臨床的研究
- ②IGRTに関する基礎的・臨床的研究
- ③加速器による中性子捕捉療法の基礎的及び臨床応用に関する研究

2. 助成対象者

助成対象者は、わが国の医用原子力技術研究に従事する大学、病院、研究機関等に所属する研究者（40歳以下）又は研究グループ（主たる研究者が40歳以下）とし、推薦者からの申請を当財団の研究助成選考委員会において選考の上内定者を選出し、当財団の役員会の承認を得て決定する。

3. 応募方法

助成の申請は、候補者の所属する機関の長（学長、学部長又は機関の代表者）又は当財団の役員、並びに委員会等に所属する委員による推薦とする。

但し、当財団研究助成選考委員会委員は、推薦者から除くこととする。

また、国内に在住する外国籍の者も、翌年の報告会で発表が可能であれば応募できる。

(1) 推薦に必要な書類：

所定の推薦書並びに添付書類（研究の要旨・意義（和文800字以内で記載）等）

(2) 推薦書提出先：

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目8番16号 第2升本ビル4階

財団法人 医用原子力技術研究振興財団

(3) 推薦書提出期限：平成22年4月16日(金)

但し、郵送の場合は平成22年4月16日の消印のあるものまで受理します。

4. 助成件数及び助成金額

平成22年度の研究助成件数は5件以内とする。

助成金額は1件につき100万円とする。

5. 選考方法

研究助成選考委員会（委員長：阿部光幸）の選考による。

6. 選考結果の発表

本研究助成が決定した者には、平成22年6月上旬に推薦者及び本人宛に直接連絡する。

7. 研究成果の報告

研究助成の交付を受けた者は、成果報告書及び会計報告書を指定の期日までに提出すること。

当財団主催の「医用原子力技術に関する研究」成果報告会等の際、口頭発表をすること。

8. 研究論文の提出

本件に関する研究成果の論文には、当財団の研究助成を得た旨を記載し、掲載された論文の別刷りを財団宛速やかに提出すること。

以上

【問合せ先】 財団法人 医用原子力技術研究振興財団 担当：松岡

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1丁目8番16号 第2升本ビル4階

TEL. (03) 3504 - 3961

FAX. (03) 3504 - 1390

受付 No. :

年月日 :

「医用原子力技術に関する研究助成」推薦書

平成 年 月 日

(財) 医用原子力技術研究振興財団
理事長 森 亘 殿

推薦者 住 所
所 属
氏 名

TEL

印

(1) 推薦理由

(2) (フリガナ)

研究者氏名

住所 :

TEL

所属機関及び職名

最終学校、専攻、卒業年次

生年月日: 年 月 日 e-mail :

(3) 研究題目 (研究助成対象テーマ (①②③) も指定して下さい)

(4) 研究目的及び研究方法の概要

(5) 他機関等に対する研究費補助又は研究助成の申請について

(6) 研究者の主な業績 (論文及び国際学会での口頭発表論文) を別紙に記載して下さい。